

パテック フィリップ ジュネーブ
Watches & Wonders Geneva 2024
2024年4月9日

ゴールドン・エリプス 5738/1R-001 モデル パテック フィリップ、《チェーン・スタイル》ブレスレットを中央舞台に復帰させたゴールドン・エリプス・コレクションのニューモデルを発表

マニュファクチュール パテック フィリップは、最新の特許取得の構造によりエレガンスと快適さが融合されたエクスクルージブな新しいブレスレットを装着し、象徴的な腕時計、ゴールドン・エリプスに新たな解釈を与える。この新しいゴールドン・エリプス 5738/1R-001 モデルは超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240 を搭載している。ローズゴールドのケースとブレスレットがエボニーブラック・ソレイユの文字盤を縁取り、いずれもスリムなローズゴールドのバトン型植字アワーマーカーと時・分針が明瞭なコントラストをなしている。

円と長方形の中間の一目でそれと分かるフォルムと、古代の黄金分割からインスピレーションを得た調和のとれたプロポーションにより、ゴールドン・エリプスは、パテック フィリップ・コレクションにおけるスタイル・アイコンとしての地位を確立した。1968年にイエローゴールド・ケースにブルーゴールド文字盤を配したモデルとして発表されたが、以後さまざまな色合いのゴールド素材と文字盤が登場した。誕生40周年を迎えた2008年には、ブルー・ソレイユ文字盤を備えたケースサイズ34.5 x 39.5 mmの大型プラチナ・モデル (5738P-001モデル) がコレクションに加わり、2018年にはエボニーブラック・ソレイユ文字盤を備えた大型ローズゴールド・モデル (5738R-001モデル) が登場した。

発表から1980年代初頭まで、ゴールドン・エリプス・コレクションは革バンドの他、3548モデル (1968年) のミラネーズ・スタイル・ブレスレットや3605モデル (1974年) のポロネーズ・スタイル・ブレスレットなど、いくつかのタイプのチェーン・ブレスレットがラインナップされてきた。これらに加え、とりわけ特徴的なデザインの多数のリンク・ブレスレットも特記しなければならない。ブレスレットに表現されたこの偉大な創造性は、大胆さと均衡がユニークに融合された、この1970年代のフラッグシップ・タイムピースにさらなるオーラを加えてきた。

チェーン・ブレスレットの再発明

パテック フィリップは、手首の曲線を包み、最高の快適さを提供しつつケースの繊細さを強調する、エレガントなチェーン・スタイルのローズゴールド・ブレスレットを備えた5738モデルを提案することにより、時計デザインの偉大な時代を今日に蘇らせる。絶え間ない革新の探求に忠実に、マニュファクチュール パテック フィリップはゴールドン・エリプス・コレクションにチェーン・ブレスレットを復活させることに重点を置いたが、特に長さ調整に関し、以前のバージョンに存在した技術的欠点を克服した。15年間にわたる開発の賜物である全面が手作業でポリッシュ仕上げされた18金ローズゴールドの新しいブレスレットは、最新の特許取得の構造を特徴とし、クラシックなチェーン・ブレスレットのスタイルを再現している。363個の元素から構成され、そのうち300個以上のリンクが手作業でひとつずつ組立てられている。新しいブレスレットは、このゴ



《報道資料》 ページ 2

ルデン・エリプス5738/1R-001モデルのエクスクルーシブな特徴となっている。最新の構造により、短くも長くも、長さ調節がより容易にできる。バックル（カバーはブレスレットに続く彫金モチーフで装飾されている）は、3つの調整ポジションから選択できる。

ピュアでタイムレスな文字盤デザイン

エボニーブラックの《ソレイユ》文字盤は、いずれもローズゴールドのバトン型植字アワーマーカーとスリムな《シュヴァー》型時・分針を配している。このタイムレスで控え目な造形美は、ゴールド・エリプスの精神を完璧に反映している。リュウズにセッティングされたブラックオニキス・カボションが、デザインの視覚的な調和をさらに完璧なものにしている。

最も薄いパテック フィリップのタイムピース

このモデルの内部では、22金偏心マイクロローターを備えた超薄型自動巻ムーブメント、キャリバー 240が脈動している。このためきわめてスリムなケースのプロフィール（5.9 mm）が可能となり、ゴールド・エリプス5738モデルは、パテック フィリップの現行コレクションの中で最も薄い時計となっている。

新しい5738/1R-001モデルは、現行コレクションの5738P-001と5738R-001モデル、および希少なハンドクラフト・コレクションの5738/51G-001モデルに加わる。

パテック フィリップとメタル・ブレスレット

1910年代に最初の腕に着用するタイムピースが登場して以来、パテック フィリップは、そのブレスレットの技術的かつ美的な独創性で知られている。1960年代後半から70年代までの10年間は、ラインナップされたメタル・ブレスレットの偉大な創造性の時代としても際立っている。

パテック フィリップのメタル・ブレスレットは、その構造により2つのタイプに分類できる。

チェーン・ブレスレットのリンクは、鎖職人によってゴールド・ワイヤーまたは別の金属のワイヤーからひとつずつ作られ、手作業で組み立てられ、その結果驚くほどしなやかな構造が生まれる。パテック フィリップはその歴史を通じて、自社の職人、および特定の専門サプライヤーの熟練技術を披露し続けてきた。後にARSA（アトリエ・レユニSA）と改称したジェナリ・ポンティはそのひとつである。1996年、すべてのマニファクチュールの工房がプラン・レ・ワット本社工場に統合された際、同社はパテック フィリップの一部となった。

《メカニカル》として知られるブレスレットを構成するリンク、バックル、エンドピースは金属の棒（ゴールド、プラチナ、またはステンレススチール）からCNC工作機械で製造され、手作業で組立てられ、その後、やはり手作業でブレスレットに応じてポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施される。このタイプにはノーチラスのポリッシュ・サテン仕上げのブレスレット（1976年に発表、15種類以上の異なる仕上げ工程が必要）、《グ



《報道資料》 ページ 3

ット》(または《ドロップレット》) ブレスレット (1998年)、および婦人用タイムピースTwenty~4 (1999年)の全面ポリッシュ仕上げのブレスレットが含まれる。

パテック フィリップの歴史的パートナーによって開発・製作され、ゴールデン・エリプス5738/1R-001モデルのエクスクルーシブな特徴として導入された新しいチェーン・スタイルのブレスレットは、最新世代のCNC工作機械による工業プロセスで製造された部品を使用し、鎖職人の伝統的な技術・ノウハウをすべて活用して手作業で組立てられ、仕上げられる。すなわちこれら2つの世界の長所を融合させているのである。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電 話：03 - 5209 - 8018 (直通)

F A X：03 - 3256 - 7558

izumi@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>





技術仕様

ゴールデン・エリプス 5738/1R-001 モデル

ムーブメント：	キャリバー 240 超薄型自動巻ムーブメント
直 径：	27.5 mm
厚 さ：	2.53 mm
部品総数：	161個
石 数：	27石
連続駆動可能時間：	最小48時間
巻き上げローター：	22金ゴールド偏心マイクロローター、単方向巻き上げ式
振動数：	21,600 振動（片道）/時（3 Hz）
テンプ：	Gyromax®
髭ぜんまい：	Spiromax®（Silinvar®製）
髭持ち：	可動式
セッティング機能：	リュウズの2位置： ・押し込んだ位置： 巻き上げ ・引き出した位置： 時刻合わせ
表 示：	指 針： ・時針・分針（センター）
刻 印：	パテック フィリップ・シール





《報道資料》 ページ 5

外 装

ケース： 18金ローズゴールド仕様
ソリッド・ケースバック
ブラックオニキス・カボション付リュウズ
3気圧防水

寸 法： 3時～9時：34.5 mm
6時～12時：39.5 mm
厚さ：5.9 mm

文字盤：

- ・エボニーブラック・ソレイユ
- ・18金ゴールドの文字盤プレート
- ・18金ローズゴールドの《シュヴー》型時・分針
- ・18金ローズゴールドのバトン型植字アワーマーカー

ブレスレット： 363個の元素から構成され、そのうち300個以上のリンクが手作業でひとつずつ組立てられ、全面が手作業でポリッシュ仕上げされた、特許取得の構造による18金ローズゴールドのチェーン・スタイル・ブレスレット、カバーに彫金を施した18金ローズゴールドの折り畳み式バックル（3つの調整ポジション付）

